

令和5年度第1回 市政懇談会（会議要旨）

日時	令和5年7月5日（水） 18時30分 ～ 19時30分
場所	小羽山ふれあいセンター
テーマ	フリートーク
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 篠崎市長 ○ 小羽山地区代表者（10名） <ul style="list-style-type: none"> 小羽山地区コミュニティ推進協議会会長 婦木 澄男 小羽山地区自治会連合会会長 伊藤 哲夫 小羽山地区社会福祉協議会会長 小泓 良雄 宇部市老人クラブ連合会会長 惠本 元 小羽山小学校教育後援会会長 木下 昇 小羽山地区ICTソリューション部会長 真部 尚志 小羽山小学校学校運営協議会会長 齋藤 亮 見守り隊隊長 小林 利明 小羽山地区子ども会会長 鈴木 昌美 小羽山地区防犯部会長 佐々木 美智子 ○ 事務局（総合政策部広報広聴課、小羽山ふれあいセンター、地域支援員） ○ 関係課（市民環境部市民活動課、交通局）
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地区内にスーパーマーケットがほしい。（地区自治会連合会会長） ○ 市営バスについて、乗り継ぎがスムーズになるダイヤを考えてほしい。（見守り隊隊長） ○ 市で乗合タクシーみたいなものを提供できないのか。（老人クラブ連合会会長） ○ 地域のニーズの統計データがほしい。官民学で連携し、小羽山地区で先進事例をつくりたい。（地区ICTソリューション部会長） ○ 小羽山地区に彫刻を設置してほしい。地区要望書を文化振興課に提出しているので、ぜひお願いしたい。（地区ICTソリューション部会長） ○ 小羽山地区には数多くの公園があるが、子どもが遊んでいない公園もあるので、もっと別の用途に活用できないか。蛇瀬池も別の用途に活用できないか。グランピング施設や高齢者のウォーキングスペース、エヴァンゲリオンとコラボしたものを置くなど。（小学校学校運営協議会会長） ○ 公園に大人向けの遊具がほしいという意見も聞く。地区で健康づくりをしたい。（地区ICTソリューション部会長） ○ 小羽山地区は公園が多すぎる。これ以上、公園をつくる必要があるのだろうか。都市開発の制度を見直してほしい。（小学校教育後援会会長） ○ 公園に、高齢者向けの健康遊具と子ども向けの遊具を一緒に置くと相乗効果があるのではないか。（老人クラブ連合会会長） ○ 公営住宅は収入が増えると家賃が上がるので、退去せざるを得ない。一方で、小羽山

	<p>の公営住宅は空き部屋が増えている。(小学校教育後援会会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民が減り、自治会に加入している人も減り、自治会運営に困っている。(地区子ども会会長) ○ 小羽山地区は、アップダウンが辛く、高齢者は出不精になる。(小学校教育後援会会長)
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市営バスについては、希望する便を具体的に聞き取り、ダイヤ改正の参考とする。 ○ 小羽山地区のデマンドタクシーの可能性を検討するため、担当課から地区の方へ連絡する。 ○ 地域のニーズの統計データの収集について、小羽山地区の自治会と協力して実証実験ができるか検討する。 ○ 小羽山地区への彫刻設置を検討する。 ○ 都市開発時の公園設置義務の見直し、都市開発時に設置された開発公園の活用方法の整理を検討する。 ○ 公園の活用（健康遊具の設置、公園での健康プログラムの実施）を検討する。 ○ 自治会加入者が減少している自治会の実情を聞き取り、自治会の統合、再編成について検討する。 ○ 小羽山地区でグリーンスローモビリティの実証実験ができるか検討する。